



聖なるハーブホーリーバジル

数十種類のミネラルと、栄養素を酵素化したエキス

ホリーバジルとは（トウルシー）？



- ヒンドゥー教では女神ラクシュミーの化身とされ、聖なる植物として崇められています。
- 死神を寄せ行けない植物として家を守る効果があるとされる。
- 葉っぱに香りを持つハーブ。
- ハーブティーや料理にも用いられる。

ホーリーバジル（トゥルシー）の学名・原産国・英語



- 学名 Ocimum tenuiflorum / Ocimum sanctum
- 科、属名 シソ科・メボウキ属
- 英名 Holy basil / tulsi
- 原産地 熱帯地域
- 開花期 6月～8月
- 花の色 紫、白
- 別名 トウルシー・神目帯

ホーリーバジルの効果・効能とは？

- 美容、アンチエイジング効果

主成分のオイゲノールやカリオフィレン、ウルソール酸といった抗酸化成分が、ストレスホルモンのコレチゾールを抑制し、若返りのホルモン「DHEA」を活性化させると言われる。肌の代謝を促し隅々まですいぶんがいきわたりハリ、つやが出てきます。

- 抗菌作用

葉っぱに含まれるエテルルには、強力な抗菌作用があり、黄色ブドウ球菌や大腸菌などの繁殖を防ぎます。

これらの有効成分が、免疫機能と新陳代謝を高め、生活習慣病やインフルエンザ、風邪の予防の他、頭痛、呼吸器の疾患、肝機能の低下、胃炎、むくみ、冷え性など体の不調を和らげ、根本的な体質の改善へと導いてくれます。

ホーリーバジルとコルチゾール（ストレス）

- コルチゾール抑制効果

コルチゾールはストレス反応によって副腎から分泌される大切なホルモンです。

ストレスが高いままだとバランスが崩れ、そのまま高血圧、高血糖、免疫機能低下、不妊状態になります。

腕や足などの筋肉が多い部分は痩せ、脂肪細胞の増殖によってお腹や顔が太っていくという現象が生じます。ストレス性の肥満です。過食の原因にもなります。

これは心の問題ではなく、脳が出す誤った命令のため根性だけでは乗り切れません。

多量に分泌された続けた場合、脳の海馬を委縮させることがMRIなどで観察されています。

海馬は記憶形態に深くかかわり、PCで例えるとメモリーの働きを行います。

ストレス過剰になるとこの能力が落ちてしまい、脳細胞まで委縮してしまいます。

酵素の使用ミネラル・原材料



- ミネラル成分

硫黄・鉄・マグネシウム・アルミニウム・
カルシウム・マンガン・チタン・ナトリウム
リン・カリウム・ニッケル・ケイ素・クロム
亜鉛・銅・フッ素・バナジウム・コバルト
リチウム・ストロンチウム・モリブデン
塩化物イオン・ヨウ素・セレン

- 原材料

大麦・玄米・鶏肉・ホリーバジル抽出液
鰹節・ビール酵母・黒米・菜種油
醗酵調味液・ハト麦・あわ・大根葉
きび・そば・ゴボウ・ニンジン・大豆
トウモロコシ・キャベツ・白菜・高菜
バジル・青じそ・牛骨カルシウム
卵殻カルシウム